

サービス産業向けセミナーを開催

2月19日、都産技研本部の東京イノベーションハブにて、サービス産業向けとしては初となるセミナー「サービスイノベーションから価値あるものづくりを一さまざな事例を元に現場力を磨くにはー」を開催しました。「途上国から世界に通用するブランドをつくる」ことをミッションに株式会社マザーハウスを立ち上げ、バングラデシュやネパールでバッグや服飾雑貨のデザイン・生産を行い、日本や台湾などで販売を行っている(株)マザーハウス代表取締役 山口 絵理子氏を基調講演の講師にお迎えし、卸売りや小売業を中心とする販売現場で、より良い商品や店舗づくり、サービスに至る現場力を磨くために必要なお話をいただきました。



▲セミナー風景

多摩テクノプラザ開設3周年記念講演会を開催

平成22年2月22日に開設し3年目を迎えた多摩テクノプラザ。この間、多くの中小企業の皆さまにご利用いただきました。さらに多くの方々に多摩テクノプラザを知っていただき、役立つ情報を提供しようと、3月8日、開設3周年記念講演会を開催しました。多摩テクノプラザの紹介、クルマの軽量化をサポートする多摩テクノプラザの技術支援の話に続き、「次世代自動車の技術動向と自動車産業の今後」と題して、東京大学生産技術研究所客員教授 田中 敏久氏にご講演いただきました。次世代自動車開発は、単なるものづくりではなく、モビリティをいかに地域社会の中で生かすかという「ことづくり」が重要であり、それが企業にとってのイノベーションとなり地域の活性化につながる、というお話に参加者は皆深くうなずいていました。



▲田中氏講演の様子

震災復興技術推進シンポジウムを開催

東日本大震災が発生した3月11日、「イノベーションによる市場創造へ～ものづくり企業の医療・福祉機器分野への参入～」をテーマに、今年度第5回目となる震災復興技術推進シンポジウムを開催しました。

基調講演では、株式会社旭リサーチセンター相談役・一般社団法人日本経済団体連合会 産業技術委員会 産学官連携推進部会長の永里 善彦氏からご講演いただき、グローバル化やアジアの急成長が進む中でブレイクスルーを生むために必要な人材教育や開発戦略についてお話しいただきました。また、最高権威の米国胸腹部外科学会で正式採用されるなど、国内外から高い評価を得ている「外科手術トレーニングシステム(冠動脈バイパス手術訓練装置)」を開発したイービーエム(株)代表取締役社長 朴 栄光氏によるプレゼンテーションが行われ、簡潔で、スピード感のある話の展開に、ご来場のお客さまも熱心に聞き入っていました。



▲永里氏による基調講演



▲朴氏によるプレゼンテーション

日野市と覚書を締結

2月26日、都産技研と東京都日野市は、地域産業の活性化を図ることを目的に、企業等の支援に関する業務を連携・協働して推進するための覚書を締結しました。覚書締結により、都産

技研が有する本格的な試験・分析、実験施設の機器利用や技術相談の活用を通じ、地域企業との共同研究や新製品開発支援、地域企業の持つ技術課題の解決を図っていきます。